

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



社会を明るくする運動「親子ふれあいマス釣り大会」(7月3日 さかな園)

平成 22 年第 2 回定例会

日の出町がん医療費の助成に関する条例 他 12議案を審議	2P
議員提出議案 3 件を審議	3P
一般質問 「町政を問う」9 人の議員	5P

審議された議案

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	新	公	町	ク	共	審議結果
議案第28号～第34号は「専決処分の承認を求めることについて」です							
28	日の出町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	承認
29	日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	承認
30	日出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	承認
31	平成21年度日の出町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	承認
32	平成21年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	承認
33	平成21年度日の出町老人保健特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	承認
34	平成21年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	承認
35	日の出町がん医療費の助成に関する条例	○	○	×	○	○	可決
36	平成22年度日の出町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
37	日の出町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
38	第四次日の出町長期総合計画の制定について	○	○	×	○	×	可決
39	消防ポンプ自動車(第二分団第一部車両)の購入契約の締結について	○	○	○	○	○	可決
40	東本宿町営住宅第1期建設工事(共同住宅)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	可決

<陳情>

番号	陳情名	陳情者	審議結果
22 陳情第1号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書 【総務文教常任委員会へ付託】	日本の子供の未来を・ 守る会 東京	採 択
22 陳情第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書 【総務文教常任委員会へ付託】	日本の子供の未来を・ 守る会 東京	採 択
22 陳情第3号	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書 【総務文教常任委員会へ付託】	日本の子供の未来を・ 守る会 東京	採 択
22 陳情第4号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書 【財務厚生常任委員会へ付託】	日本の子供の未来を・ 守る会 東京	趣旨採択

※ 趣旨採択・・・趣旨採択は、言葉通り「趣旨(陳情の内容)はわかりました」という意味で、これにより陳情で求めている当該執行機関へ陳情書の送付等が行われるものではありません。

※ 付託先・・・総務文教常任委員会【須崎安通・平野隆史・東 亨・清水秀明・田村みさ子・神田 廣】
財務厚生常任委員会【濱田敏郎・星野 茂・小澤光雄・嘉倉 治・青鹿和男】

<議員提出議案>

番号	議案名	新	公	町	ク	共	審議結果
3	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書	○	×	×	○	×	可決
4	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書	○	○	×	○	×	可決
5	「人権侵害による被害の救済及び予防等に関する法律案(人権侵害救済法)の成立に反対する意見書	○	○	×	○	×	可決

※ 議員提出議案は、22 陳情第1号～第3号が本会議において【採択】され、陳情が意見書の提出であることから意見書を審議するため、本会議に上程し【可決】したので当該執行機関へ提出します。

※ 可決された意見書(3件)は、全て【衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・法務大臣】宛に提出。

6月2日から16日までの15日間の会期で開催された。
初日は、条例制定・専決処分・補正予算など9議案が審議された。

2～3日目には9人の議員による行政全般に関する22項目の一般質問が行なわれ、さらに最終日には人事・契約・長期総合計画の制定など4件、議員提出議案3件が審議された。

初日は、地方税法の改正に伴う日の出町町税賦課徴収条例、日の出町都市計画税条例及び日の出町国民健康保険税条例の一部改正した専決処分、平成21年度の一般会計補正予算及び各特別会計補正予算の専決処分、日の出町がん患者の医療費の助成に関する条例の制定、平成22年度一般会計補正予算、瀨中映慈議員を都市建設常任委員に選任することが全会一致・賛成多数でそれぞれ承認・可決されました。

最終日は、議会選出の日の出町農業委員会委員に濱田敏郎議員を推薦すること、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者に清水秀明議長を推薦すること、日の出町代表監査委員の任期満了に伴い、新たに横倉登氏を選任すること、第三次日の出町長期総合計画が平成21年度をもって計画期間を終了したことに伴う第四次日の出町長期総合計画の制定、消防ポンプ自動車(第二分団第一部車両)の更新に伴う購入契約の締結について、東本宿町営住宅第1期建設工事(一階に2LDKが3戸、二階に3LDKが2戸の木造二階建て共同住宅)請負契約の締結、陳情の採択に伴い提出された議員提出議案(意見書)が全会一致・賛成多数でそれぞれ決定・同意・可決されました。

平成22年

第2回

定例会

審議内容

人事

代表監査委員に就任



横倉 登氏は、木住野高志代表監査委員の任期満了に伴い選任されました。
(任期：平成26年6月19日)



<15年を経過し、更新を迎えた
第二分団第一部の消防ポンプ自動車>

一般質問

町政を問う 要旨

9人の議員

質 がん医療費の無料化を政策として掲げられた町長の考えは、町長 子ども（クーポン支給等）・高齢者（医療費無料化等）については、既に一定の施策を実施している。中学



がん医療費の無料化について

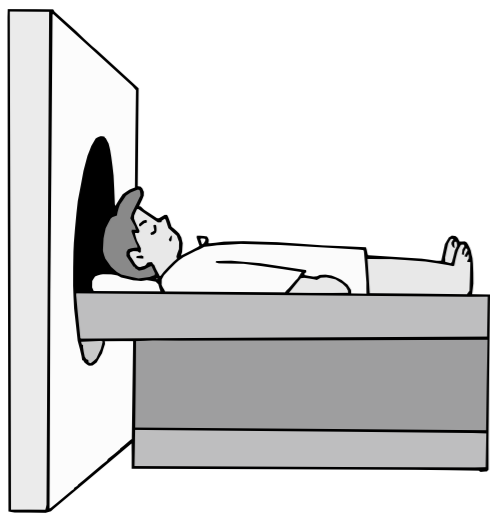
小澤 光雄

答 がん医療費の個人負担分を町が負担し無料にします

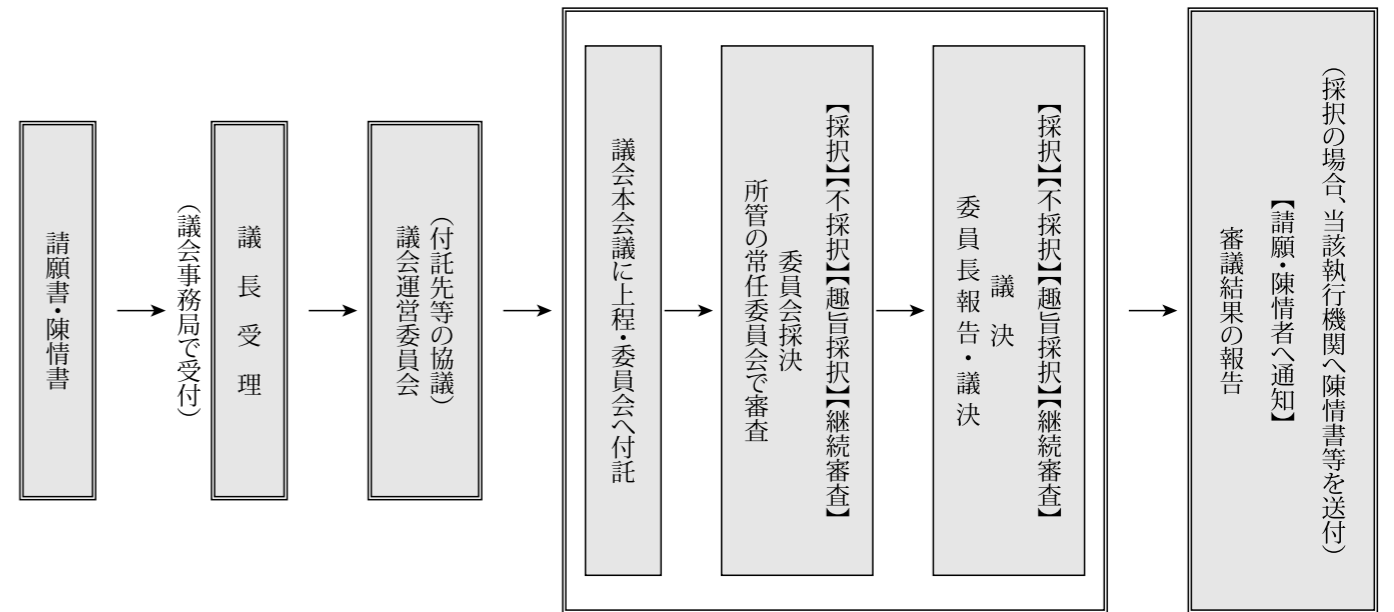
校卒業後から74歳までの方々を対象とし、患者及び家族の経済的負担が大きいため、これを軽減するべきと考えた。この制度の財源見込みは、町長 医療機関等と詳細を検討・協議中だが、概算で年間6千万円程度。財源的には平成22年度一般会計予算の0.7%にあたり、中長期に見て問題ない。秋頃からの実施予定。

質 がんにおいても早期診療、早期発見、早期治療が大切。町の実施しているがん検診の受診者と受診率向上のための対策は、町長 平成21年度は検診者2918名、受診率24.9%で受診率を上げるため広報や自治会の回覧による周知等、あらゆる機会に検診のお知らせをし、受診率の向上を図る。

他の質問
・(仮称)野鳥の森・こども自然公園について



※ 請願・陳情を受理してから議決までの流れ



<各会派の名称と所属議員>

★印…会派代表者

会派名	上記の表の略号	所属議員	
新政会	新	★小澤光雄・東 亨・神田芳男・清水秀明・須崎安通 濱田敏郎・加藤光徳・平野隆史・濱中映慈	9人
町民党	町	★田村みさ子・青鹿和男	2人
公明党	公	★大澤言枝・嘉倉 治	2人
クラブ21	ク	★星野 茂・神田 廣	2人
日本共産党	共	★折田真知子	1人

日の出町がん医療費の助成に関する条例（一部抜粋）

(目的)
第一条 この条例は、がんによる医療費（以下「医療費」という。）負担が、当該がん患者及びその家族の日常生活に多大な影響を及ぼしている状況に鑑み、がん医療費の助成を行うことにより、経済的不安の軽減を図り、医療に専念し、早期社会復帰を図れるよう支援することを目的とする。

(対象者)
第二条 この条例により医療費の助成を受けることができる者（以下「対象者」という。）は、国民健康保険法（昭和三十三年法律第九十二号）その他規則で定める法令（以下「医療保険各法」という。）の規定により医療に関する給付が行われる者であつて、次の各号に該当する者とする。
(一) 日の出町（以下「町」という。）に引き続き三年間居住し、かつ同期間住民基本台帳法（昭和四十二年法律第八十一号）第五条に規定する町の住民基本台帳に記録され、又は外国人登録法（昭和二十七年法律第二十五号）第四条第一項に規定する町の外国人登録原票に登録されている者
(二) 十五歳に達した日以後の最初の四月一日から七十五歳未満の者
(三) 生活保護法（昭和二十五年法律第四十四号）による保護を受けていない者

(助成の範囲)
第三条 町は、対象者に対し、がん治療により療養の給付が行われた場合における医療費のうち、医療保険各法の規定による被保険者が負担すべき額（病院又は診療所への入院時における食事療法及び生活療養に係る標準負担額相当を除く。）を助成する。
二 前項の助成は、他の法令によつて医療に関する給付を受けることができるときは、その給付の限度において行わない。

(第四条から第九条まで省略)

附則
この条例は、交付の日から起算し六月を超えない範囲において規則で定める日から施行する。

大久野浄水所の異臭事故について

大澤 言枝

水道局に再発防止・情報提供等の要望書提出

答



5日西福寺沢で異臭との通報を受け、東京都多摩環境事務所に通報し、油分の拡散を防ぐマットを敷設。壁の修復と土砂を除く工事を実施。水質調査を委託、土壌調査も行うが、土地が民有地の為、協議し早急に対応する。町は3月25日に水道局に今回の問題を含め、事故の再発防止並びに問題が発生した場合の町民への情報提供を速やかに行う旨の要望書を提出した。

質 大久野浄水所は上質な水道水源を有し、

質 安定した水道品質でおいしい水である。今回の事故で、小作浄水所系の水に切り替えられているが、カルキが強くなり早く地元の水を取り戻してほしい。

町長 既に水道全体の管理については、町から都に移っている。このことを踏まえ対応し、全町民に安全で安定した飲料水提供に努める。



西福寺沢

他の質問
・日の出町のがん対策について
・国民読書年について

質 この問題の経緯について。
副町長 2月3日から5日にかけて町民より6件の水道水に異臭があるとの情報があり直ちに水道局に連絡し対応。異常なしと聞く。2月

町営住宅の建て替えについて

神田 廣

22年度から3カ年計画で東本宿住宅の建て替え

答

他の町営住宅あるいはその住宅への移転に対する入居条件、移転料及びその他の事項を定め、事業の円滑かつ迅速な実施を図ることにしている。

質 (仮称)新東本宿住宅への移住基準は。
課長 世帯3人以上は集合住宅の3DKまたは

質 1戸建て住宅の予定。2人以下は集合住宅の2DKの予定。集合住宅1階、2階及び部屋的位置については協議し決定する。



工事が始まった(仮称)新東本宿住宅

他の質問
・お年寄りにやさしい福祉施設について

質 老朽化している住宅の入居数と人数は。
課長 塩田住宅4棟6人・東本宿住宅8棟14人・下平井住宅3棟6人・落合住宅4棟10人。諏訪下住宅19戸39人の入居となっている。

質 今後の町営住宅建て替え計画は。
課長 平成22年度から24年度の3カ年計画で、(仮称)新東本宿住宅の建設を進めている。諏訪下住宅については、(仮称)新東本宿住宅の建設が終了した後に建て替える。

質 建て替えに伴う入居者の移住など諸課題について。
課長 町では町営住宅建て替え事業に伴う移住者斡旋要綱を定め、



町長の基本政策について

嘉倉 治

人口増と産業の振興による税収の増加に努める

答

質 諸政策の行財政基盤の確立は。
町長 不断に内部努力を行い、人口の増加や産業振興による税収の増加に努めたい。

質 町の経済活性化のため農工商が連携し、地元雇用の創出に努めべきと考えるが。
町長 町は日の出町観光振興計画策定に向けて検討している。観光のネットワーキングにより地元雇用の創出ができると考える。

他の質問
・しょうがい者雇用と助成について

財政展望と町・人づくりの構想は

濱田 敏郎

中期的に見ても安定的な歳入の確保を確実に

答



質 今後10年間に進める町づくり人づくり展覧は。
参事 第4次日の出町長期総合計画を策定中で、この中で町の将来像を「みんなであつくりの日の出町」安心・躍

進自立の町、住んで良かった日の出町の実現を図るため、生涯にわたって健康で安心して暮らせる日の出町、交流を基盤に若者もいきいき定住する日の出町、人と文化が輝く私のふるさと日の出町の三つを基本目標としている。

質 町財政は平成23年度をはじめ今後どのように推移するのか。
参事 町税は28億、地域振興費10年間で100億、歳出は義務的経費を計画的に行っていく。今後5年間の動向



は行財政運営が極めて重要な時期。行政サービスは低下させず安全安心な暮らしの充実を確保する。

質 住宅や人口の推移は平成30年にはどのよう予測できるか。
参事 6月1日現在1万6422人、10年後の平成31年には1万8200人程度になると予測する。

他の質問
・多摩団体の開催と会場準備、受入態勢は
・野鳥の森子ども自然公園の計画について



健康の維持・増進を主要施策に位置付け、がん予防対策講演会、健康づくりウォーキング、アロマテラピー、ストレス解消やうつ病予防講座を実施する。

町民ニーズの大きいインフラ整備について

星野 茂

答 逐次実施するものと都と協議中のものがある



質 「川北通り」、「東光院橋」、「病院街道」などの整備計画の現状と見通しは。
課長 川北通りについては予算に沿って逐次計画を進め、東光院橋については、その必要



川北通り（常福寺側より東）



川北の山（東側）

性が高いことから都と協議をしながら具体化に努めていく。病院街道については、町として引き続き早期着手を都に要望していく。

質 藤谷街道の抜本的な雨水対策である雨水管を平井川に接続させるための取組みと見通しは。

課長 現状では、調整池の確保が困難であるため、直接川に放流することができない。計画中の河川改修を早期に着手するよう都に要望している。

質 野鳥の森・こども自然公園の整備計画は、長期的視点で計画を進めていくことも必要、見解は。
町長 川北の山が貴重な行政財産であることから、今後、子ども達をはじめ、多くの人の広範な意見を聞きながら整備を進めていくこともひとつの方策ではないかと考える。

他の質問
・これからの町政運営と諸施策について

町長のめざす町づくりとは

田村みさ子

答 過去を踏まえて対話から生まれる心の通う町政を進める



質 「対話から生まれる心のかよう町政」の仕組みは。審議会見直しの考えはあるか。

副町長 議員の意見を真摯に聞くとともに、住民の多様な意見も踏まえて政策や施策に生かしていくことが大切と認識している。パブリックコメントの実施、各種審議会等での委員公募枠の設定のほか、会合等でご意見を伺うことなど、町長の意向がより具体化されるよう、さまざまな場面や方法で拡充を図っていく。審議会は調査を行い集計段階にある。公募枠の設定、統合・廃止など検討中である。

規事業の財源見直しは。年間百億円の協定が締結された。ソフト・ハード両面の事業にこれら以上に幅広く対応できる。効果的に使っていく。
質 資源循環組合からの地域振興費の使途は
副町長 22年度から10

他の質問
・大久野浄水所の異臭事故について



質 年度途中からの新

日の出町の貧困ビジネスへの対応を

折田真知子

答 弱者救済の立場から町としても検討する



質 実態調査はしているか。

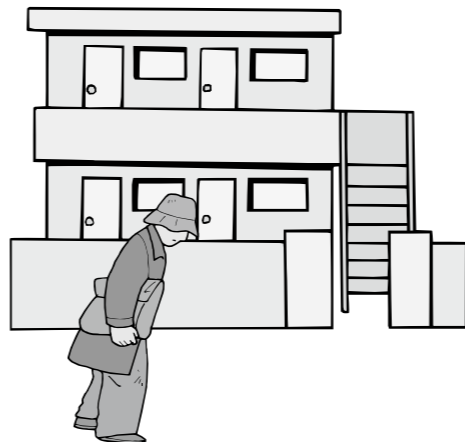
課長 いわゆる路上生活者らに生活保護費を受給させ、家賃などを天引きする貧困ビジネスの調査・指導は東京都が行い、日の出町には26人程度在住している。

質 市街化調整区域であり、違反・違法性はあるか。
課長 建築に対して、東京都の秋川消防署・福祉事務所・開発指導課・建築指導課、町の都市開発課・介護保険等、会合を持ち、現場の立会い、改善指導命令等、協議をした経緯がある。

最終的には、都の指導ということになり、町

は都に要望はしたが、権限が無い。
質 都と連携し、貧困ビジネスとならないよう支援の検討を求めたい。
副町長 現行の法令の想定外であり、有効な手立ては、国が取ることがある。
町長 憲法25条の「すべての国民は、健康で

文化的な必要最低限の生活を営む権利を有する」ことから、その精神を尊重し、町としても救済を検討していきたい。
他の質問
・大久野浄水所異臭問題への対応について
・広報されたプラムポックスウイルスについて



未完成の「やすらぎの里日の出」の現状は

青鹿 和男

答 民民の話、行政関与は慎重であるべき



質 介護老人施設「やすらぎの里」の、課税上の扱いはどのような状況か。

課長 固定資産税、土地に課税、建物は未成と判断、家屋調査を保留。破産手続き開始

により破産管財人に交付要求をしている。
質 当該事業の現状把握は。地元自治会に説明する考えは。
課長 官報で裁判所が破産手続きを開始したという以外、把握していない。また、町が直接所管する事業でないことから、地元説明する立場にはない。
質 当該事業建設にあたり、橋の補強が行われ道路が地盤高となつて住民生活に支障を（車庫に納車できない）きたしている、町としての対策は。



やすらぎの里

課長 橋の補強工事は実施工事により行ったもの、工事を早急に完了するよう町では再三連絡を取り、指示したが、未完成のままの状況となっている。車庫の問題は、民民の問題、町が介入することはできない。実施工事が完了すれば解決できるものと考えている。

他の質問
・新公会計制度の整備について
・道場13号線道路改良工事について

議会日誌

東京都町村議会議員が一堂に会して研修

5月13日、ホテルフロラシオン青山（港区）において、東京都町村議会議長会主催による講演会が開催されました。

民俗研究家の結城登美雄氏を講師を迎えて『よい地域であるための7つの条件』の講演に、各議員が熱心に耳を傾けていました。



講演会場

次の定例会は9月に開かれます。
本会議と常任委員会は傍聴が出来ます。
お気軽にお越しください。

9月定例会日程（予定）

- 8月26日（木）議会運営委員会
- 9月1日（水）本会議（議案審議）
- 9月2日（木）常任委員会
- 9月8日（水）議会運営委員会
- 9月13日（月）本会議（一般質問）
- 9月14日（火）本会議（一般質問）
- 9月15日（水）本会議（議案審議）

議会だより編集委員

平野 隆史 神田 廣 青鹿 和男
濱田 敏郎 須崎 安通 大澤 言枝

議会事務局

☎（597）0511 内線360

編集後記

記録的な猛暑が続いて全国各地で熱中症にかかった方が多いとのこと。自分の体は自分で管理し、暑さから体を守っていたきたいと思います。

さて、6月の定例町議会では、先に記したように20件の議案が審議されました。なかでも、町長の公約でありました「日の出町がん医療費の助成に関する条例（案）」が可決されました。日本人の3大疾病のひとつとされている「ガン」については、医学と医療技術等の発達により多くの人が恩恵を受けられていますが、不幸にして亡くなる方も少なくありません。日常生活の中で、安全で安心な生活をしていくには、先ず、健康でなくてはなりません。早期発見・早期治療が最も大切なことと思いますので、ぜひとも**定期的な検診**を受けられるようお願いいたします。

編集委員長 須崎 安通